



U

RAYASU

S TYLE

Vol. **41**
2020.09



学校休業から学校再開、そして、今 読書を通して豊かな心を育む

夏休み前の最後の登校日 北部小学校

6月1日から学校が再開され、今年度は、終業式をいつもより遅い7月31日に行いました。いつもより短い夏休みを迎える子どもたちの笑顔は、いつもと変わらないようです。



コロナ禍における新しい学校生活様式を模索中！

昨年度末から今年度当初にかけておよそ3か月にわたって学校休業を余儀なくされ、この間、学校生活においては『別れ、旅立ち（卒業等）』と『出会い、スタート（新入学、進学・進級等）』という子どもたちの成長にとって大切な節目、時間が失われました。また、子どもたちのみならず教職員や保護者等多くの大人たちが「学校や学校教育」という空間や機能の存在意義や価値を見直すきっかけとなりました。学校は再開されましたが、コロナ禍以前とは異なり新たな対応が求められています。子どもたちの安全・安心はもとより、教職員や保護者、地

域の方々をはじめ、学校関係者全ての安全確保、そして、学校の持つ機能の保証を推進していく必要があります。そのような中、各学校では、PTAや有志の方々による消毒や清掃活動にご協力をいただいているとのうれしい報告が届いています。

先日、市PTA連絡協議会長より「情報教育の充実を求める要望書」をいただきましたが、その中で「もっと学校はPTAを頼ってください」と、同席していた市校長会長への言葉かけに私は感動しました。ここ最近忘れかけていた「子どもを真ん中において先生と親が共に汗を流す」精神もまたコロナ禍において見直されるべきだと強く感じた次第です。

浦安市教育委員会 教育長 鈴木忠吉